

○備前病院の職員給与費対医業収益比率が、日生病院、吉永病院と比べて、非常に高くなっている。民間企業で抜本的な改革をする場合、人件費に注目する。年々収益が減っている状況の中では、賞与等に関しても抜本的に考えなければ、備前病院の存続は厳しい。

また、病床利用率もやはり備前病院が一番低く、これも収益が減少している原因になっている。日生病院、吉永病院と大きく利用率の差があるため、ほかの病院の特性を見て、良い部分を取り入れ、抜本的な改革に本気で取り組んでいただきたい。

○自己評価としてはかなりシビアな結果であるが、特にDとかEになったものを見ると、それぞれの努力では容易に解決できないものもあり、今後こういった取り組みや方向性を考えていくか。

コロナ禍の大変厳しい中で、改善策もコロナ優先になると思うが、達成感を持てるものをプランの中に位置づけ、現場の職員の心が折れないようにしていかなければならない。

○計画等を見ると、頑張る、儲けるという意志が非常に強く見受けられるが、日本全国で人口が減少しており、想いだけでは容易には達成できない。医療を継続し、診療体制を維持していくのは重要だが、各地域に存在する市立病院として、自分の病院に必ず達成すべき、課せられた使命というものが計画に入っていた方がよい。数字だけで見て、達成できなかったことだけが伝わってくる資料だと、現場の職員は頑張っており、その地域で必要な事をしているにもかかわらず、それが見えてこない。経営と少しずれるかも知れないが、そういうことが伝わりやすくなるとよい。

○公立3病院について、役割分担、連携の考え方や、地域包括ケア病床等、病床に関する考え方について、教えてほしい。

○計画に関して、実状に即して柔軟に見直していくと、評価の意味合いも更に高いものになる。

○改革プランについて、目標に達しておらず、アクションも十分取っていないので、PDCAサイクルが十分回っていない。少子高齢化し、人口が非常に減少しているエリアであるということをお前提で協力していかなければ、計画達成は難しい。前市長の時に備前市公立病院あり方検討会が設置されていたが、新しい市長のもとで、今後どうしていくか考えていかないと、根本的にプランを立てていけない。人口減少が著しく、県南でも中山間地域と表現されるようなエリアの中で、どのようにこの3病院を計画していくか、行政、病院、医師会の人間も含めて考えていかなければならないという、待ったなしの状況が来ている。コロナ禍においては、今までの状況から、備前病院が公益を担う仕事を最もしており、その評価として補助金を受けているが、問題は、ポストコロナをどうするかということ、本気で考えなければならぬ時期が来ているということで、市としても検討をしていただきたい。

○評価表の活用について、自己評価の結果、それぞれの病院でどういった取り組みをしたかをきちんと記載した資料を作ってはどうか。1項目1項目細かく記載するというのもよいが、経営状態の問題等を一つの大きな項目にして、今後のアクションプランというのを作ると、かなり現状より改善ができると思う。